

東京湾水質観測結果 (平成 12 年 7 月分)

資料：水質観測 (7/1 内房海域：第2ふさみ丸 7/3 東京内湾：わかふさ)
 一都三県漁海況速報，東京湾口海況図，相模湾・伊豆諸島近海海況速報

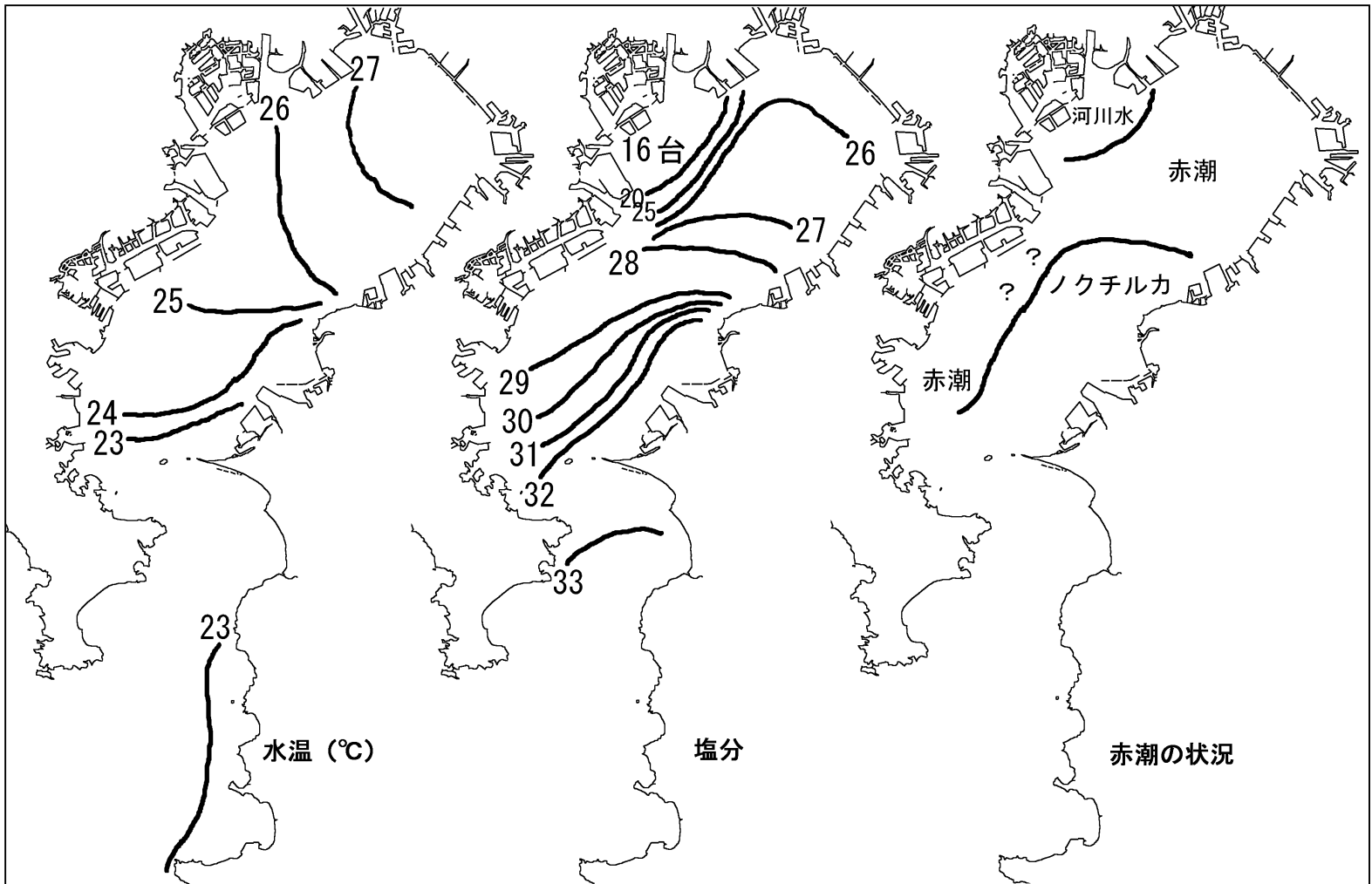


図 1 表層の水温，塩分，赤潮の状況と底層のDO

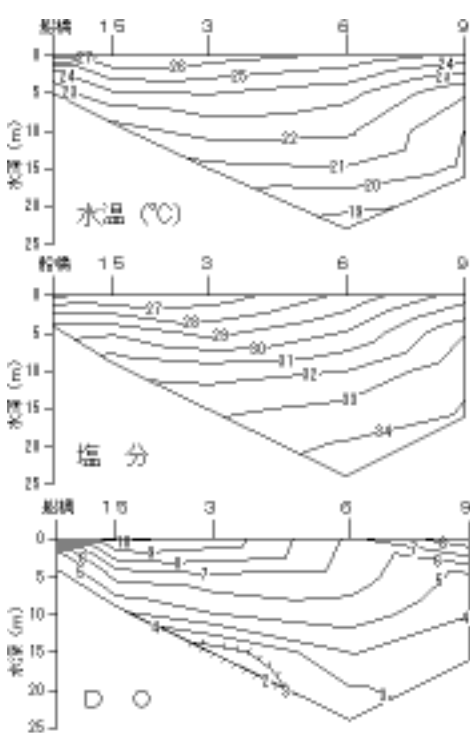


図 2 内湾の鉛直分布

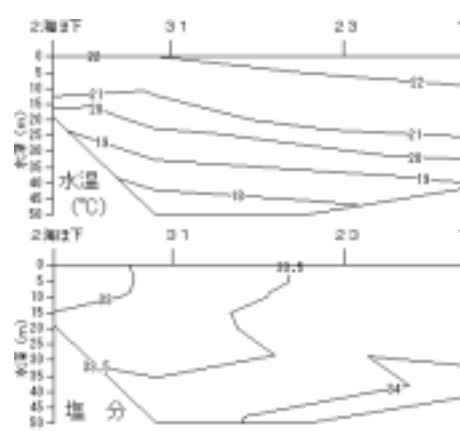


図 3 内房の鉛直分布

水温・塩分の状況 (図 1 ~ 3, 表 1)

表層の水温は 22 ~ 27 でした。塩分は湾奥西部で 20 以下の低塩分がみられます。

内湾縦断面の鉛直分布をみると水温 18 ~ 27 台，塩分 26 ~ 34 で，いずれも躍層は形成されていません。

内房海域では水温 17 ~ 22 台，塩分 32 ~ 34 です。

赤潮の状況 (図 1, 4, 表 1)

湾奥部と内湾中央部の西側で赤潮が発生しています。

赤潮形成海域の主なプランクトンは渦鞭毛藻類のプロロセントルム (*Prorocentrum* sp.) と珪藻類のスケルトネマ (*Skeletonema* sp.) でした。

湾中央部沖合から木更津周辺はノクチルカ (ヤコウチュウ *Noctiluca scintillans*) が多く，そのほかに渦鞭毛藻のギロディニウム (*Gyrodinium* sp.) などがみられます。

植物プランクトンの量の指標となるクロロフィル a 量は湾奥部で 50 ~

70 $\mu\text{g/L}$, 中央部で15 ~ 30 $\mu\text{g/L}$ でした。
訂正：前回の12 - 8でプランクトン組成のなかの「原生動物のメソディニウム(*Mesodinium rubrum*)」が違う種であることがわかりました。ただし種の同定まではできませんでしたので保留とします。

低酸素水塊の状況 (図2, 5)

6月26日に内湾奥部で青潮が発生しました。範囲は千葉中央港, 新港, 船橋航路, 幕張沖で, 青潮気味海域は三番瀬, 市川航路でした。幸い漁業への被害はなかったようです (情報元: 船橋市漁協, 水質保全課, 水質保全研究所, 漁業資源課)。

底層のDO分布をみると湾奥中央部に1 ml/L 台の低酸素水塊がみられます。縦断面の鉛直分布ではst. 3付近の底層で1 ml/L 台でした。

低酸素水塊の範囲は前回 (6月21日) に比べてみると小さくなっています。

水試では2.5 ml/L (酸素飽和度50%) 以下を低酸素水としています。漁業種類によってはそれ以上でも影響がでる場合もありますので注意してください。

表層の栄養塩類 (表1)

溶存無機態窒素 (DIN) は内湾で40 ~ 280 $\mu\text{g/L}$ 台内房で30 ~ 50 $\mu\text{g/L}$ 台, リン酸態リンは全域で1桁台 ~ 20でした。全体で低めです。

黒潮の動き (図6)

7月5日の一都三県漁海況速報によると, 黒潮は房総半島付近を離岸していますが, 伊豆諸島海域で流れが複雑なようです。相模湾・東京湾にも影響がでるかもしれません。今後の動向に注意してください。

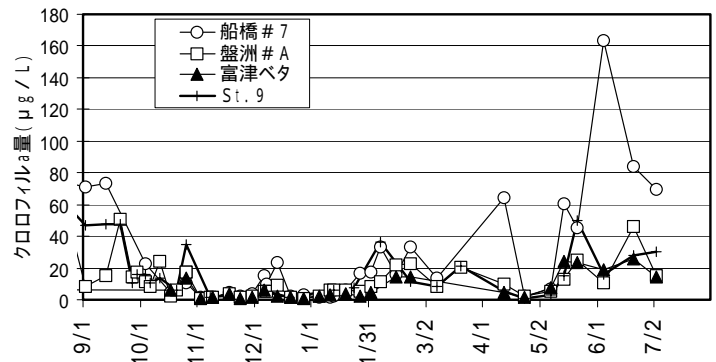


図4 クロロフィルa量の変化

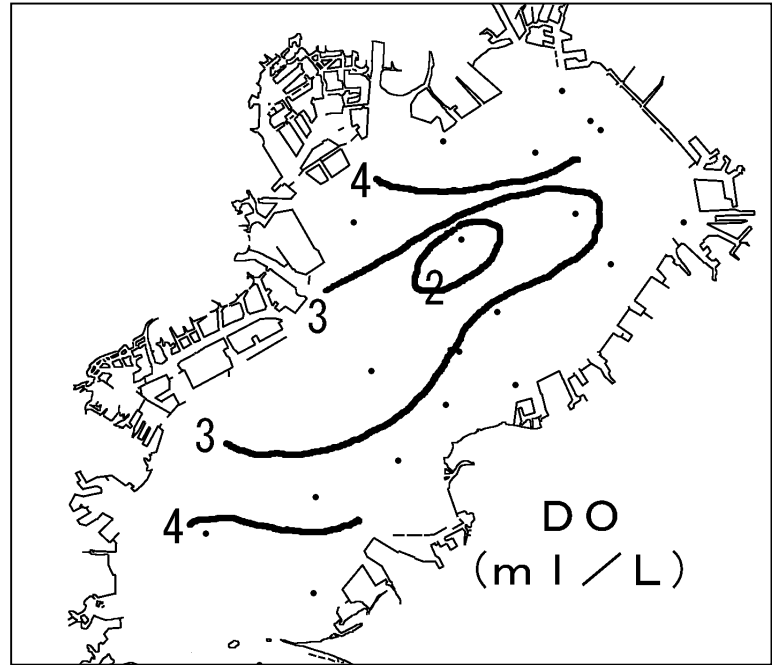


図5 底層のDO分布(ml/L)

表1. 水質調査結果 (表層)

調査日: 7月3日 (内湾), 7月1日 (内房)

調査点	透明度	水温	塩分	pH	溶存無機態窒素 ($\mu\text{g/L}$)	リン酸態リン ($\mu\text{g/L}$)	クロロフィルa量 ($\mu\text{g/L}$)
内湾海域	船橋	27.5 (25.0)	25.89 (25.49)	*8.7 (8.4)	150 (455)	5 (38)	69.4
	St. 15	1.4 (25.2)	27.0 (25.77)	*8.7 (8.6)	156 (329)	5 (23)	56.2
	st. 3	1.5 (25.1)	26.5 (27.04)	*8.7 (8.6)	274 (264)	9 (16)	69.7
	St. 6	2.3 (24.6)	25.8 (27.59)	*8.7 (8.6)	245 (284)	16 (18)	15.0
	St. 9	2.5 (23.8)	24.7 (29.97)	*8.7 (8.5)	103 (156)	2 (13)	30.1
	盤洲Cブイ	2.8 (24.1)	26.3 (28.33)	*8.7 (8.5)	278 (225)	20 (15)	18.5
	St. 8 (盤洲Aブイ)	2.5 (23.7)	23.9 (30.01)	8.6 (8.4)	43 (181)	4 (15)	15.1
	富津ベタ	3.0	22.7	32.44	8.5	37	3
内房海域	第2海ほ下	10.0 (22.9)	22.0 (31.17)	8.0 (8.4)	54 (137)	4 (11)	11.5
	st. 31	10.0 (22.5)	22.0 (31.45)	8.0 (8.4)	29 (145)	2 (12)	5.1
	st. 23	11.0 (23.0)	22.2 (32.84)	8.1 (8.4)	29 (45)	2 (4)	
	st. 1	11.0 (23.0)	22.8 (33.77)	8.1 (8.3)	28 (31)	1 (4)	0.5
	St. 10 (下洲沖)	10.0 (23.2)	22.0 (31.22)	8.1 (8.4)	26 (130)	3 (10)	
	St. 12 (湊沖)	10.0 (23.3)	22.0 (31.49)	8.0 (8.4)	31 (106)	2 (9)	
	St. 22 (保田沖)	10.0 (23.5)	23.1 (32.83)	8.1 (8.4)	23 (43)	1 (4)	
	St. 24 (富浦沖)	10.0 (23.5)	23.1 (33.04)	8.1 (8.3)	31 (37)	1 (4)	
St. 26 (館山湾内)	10.0 (22.9)	23.2 (33.70)	8.1 (8.3)	48 (40)	1 (3)		

(): 過去10年間の平均値

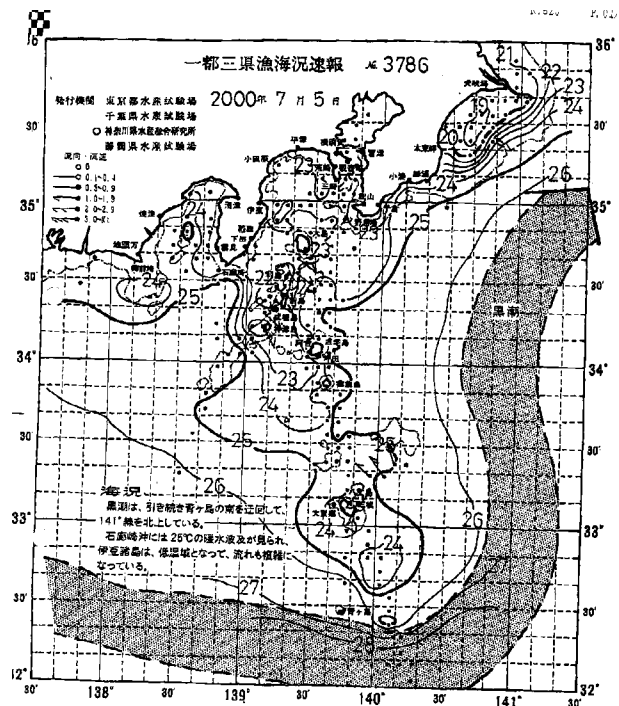


図6 黒潮の動き

観測日記

- ・塩分の甘いところ (河川水の影響のでているところ) 表層のクラゲをみているとだいたいわかります。甘いところにはいません。
- ・観測中すごい雷に遭遇しました。